

安全データシート(SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-M1 040-6.1
改訂： 2026-02-12
製造所識別コード Radiometer SDS M1 040-5.0 (EU-EN/3.1)

ページ数 1/4
初版： 2011-07-31

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品番号・製品名： 904-308 D826 TC-PO2 電極アクセサリキット【TCM 用】
904-891 D282 tc 電極取り付けキット【TCM 用】
905-689 コンタクトリキッド（接触液）2（4x 20 mL）

推奨用途：

経皮血液ガスモニタのセンサ用電解液

供給者に関する情報

販売元：ラジオメーター株式会社
〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35
電話： 03-4331-3500
製造元：ラジオメーターメディカル社（Radiometer Medical ApS）
Åkandevvej 21 DK-2700 Brønshøj, Denmark
ホームページ：www.radiometer.com

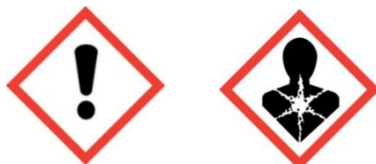
2 危険有害性の要約

GHS 分類：

健康有害性：

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：
区分 1(中枢神経系, 血液系), 区分 3(麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1（中枢神経系, 呼吸器系）

GHS ラベル要素



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

H336 - 眠気又はめまいのおそれ
H370 - 臓器の障害： 中枢神経系, 血液系
H372 - 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害：
中枢神経系, 呼吸器系

注意書き：

P260 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P270 - この製品を使用するときに, 飲食又は喫煙をしないこと。
P271 - 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分： 混合物

%	CAS 番号	化学名
904-308: 90-99%	57-55-6	プロピレングリコール
904-891, 905-689: 40-50%		

安全データシート (SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-M1 040-6.1

ページ数 2/4

【TCM 用】 TC-PO2 電解液/コンタクトリキッド/電極アクセサリキット/E5480 センサ取り付けキット

4 応急措置

応急措置の詳細：

吸入した場合： 新鮮な空気の場所に移し、人目に付く状態で安静を保つ。
皮膚へ付着した場合： 汚染された衣服を脱がせ、水で皮膚を十分にすすぐ。
眼に入った場合： 水で洗い流す。
飲み込んだ場合： 直ちに口をすすぎ、大量の水を飲む。

5 火災時の措置

適切な消火剤： 周辺物質に適切な火災消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤： 情報なし
火災時特有の危険有害性： 包装サイズを考慮すると、リスクは微小と見なされる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置： 消火時の呼吸保護の選択：職場で指定された一般的火災対策に従う。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

蒸気の吸入及び皮膚や目への接触を避ける。本 SDS に記載されている安全な取り扱いのための対策に従う。

環境に関する注意事項： 少ない使用量を考慮すると、本製品には関係しない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材： こぼれた液体を適切な吸収材で吸収する。

7 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い： 優れた試験室/産業衛生習慣を守ること
安全な取り扱いのための注意事項： 本製品は、患者の皮膚に接触するおそれがあるため、各施設で定めた感染防止手順に従うこと。

保管

安全な保管条件： 製品ラベルの保管温度を参照

8 ばく露防止及び保護措置

設備対策： 十分な換気を行うこと。スプレーミスト/エアロゾルの発生を避ける。

保護具：

呼吸用保護具： 個人用保護具は、CEN 規格に従って、個人用保護具の供給者と協議の上、選択する必要があります。
手の保護具： 接触の危険性： 保護手袋を着用すること。ニトリル手袋を推奨する。
他のタイプの手袋は、手袋の供給者が推奨することができる。
眼の保護具： 飛沫の危険性： ゴーグル/顔面シールドの着用。
衛生対策： 取り扱い後は、手を洗う。

9 物理的及び化学的性質

物理状態：	液体	pH：	情報なし
色：	無色	動粘性率：	情報なし

安全データシート (SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-M1 040-6.1

ページ数 3/4

【TCM 用】 TC-PO2 電解液/コンタクトリキッド/電極アクセサリキット/E5480 センサ取り付けキット

臭い：	無臭	溶解性：	水、エタノールと混和性がある。
融点/凝固点：	情報なし	n-オクタノール/水分配係数 (log 値)：	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲：	情報なし	蒸気圧：	情報なし
可燃性：	情報なし	密度及び/又は相対密度：	およそ 1,0
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：	情報なし	相対ガス密度：	情報なし
引火点：	99°C (プロピレングリコール)	粒子特性：	情報なし
自然発火点：	情報なし	分解温度：	情報なし

10 安定性及び反応性

<u>反応性：</u>	知見なし。
<u>化学的安定性：</u>	所定の保管条件では安定。
<u>危険有害な反応の可能性：</u>	知見なし。
<u>避けるべき条件</u>	特になし。
<u>混触危険物質：</u>	強酸化剤、強酸
<u>危険有害な分解生成物：</u>	特になし

11 有害性情報

<u>急性毒性</u>	分類できない
<u>皮膚腐蝕/刺激性</u>	分類できない
<u>眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性</u>	分類できない
<u>呼吸感作性または皮膚感作性</u>	分類できない
<u>生殖細胞変異原性</u>	分類できない
<u>発がん性</u>	分類できない
<u>生殖毒性</u>	分類できない
<u>特定標的臓器毒性(単回ばく露)</u>	分類できない
<u>特定標的臓器毒性(反復ばく露)</u>	分類できない
<u>誤嚥有害性</u>	分類できない
<u>吸入</u>	エアロゾルの吸入： 呼吸器系を刺激することがある。
<u>皮膚との接触</u>	長時間の接触や繰り返しの接触は、炎症を引き起こす可能性がある
<u>眼への接触</u>	直接接触すると炎症を起こすことがある。
<u>摂取</u>	包装のため、可能性は低い。ただし、摂取すると吐き気、胃痛、嘔吐を引き起こす可能性がある

12 環境影響情報

<u>生態毒性</u>	本製品の生体毒性はわずかとみなされる。
<u>残留性・分解性</u>	本製品は生分解性があると考えられる。
<u>生物蓄積性</u>	生体内に蓄積しない
<u>土壌中における移動性</u>	データなし
<u>オゾン層への有害性</u>	分類できない
<u>PBT および vPvB 評価の結果：</u>	本製品には関係していない。

安全データシート (SDS)

自社識別コード： Radiometer-JPSDS-M1 040-6.1

ページ数 4/4

【TCM 用】 TC-PO2 電解液/コンタクトリキッド/電極アクセサリキット/E5480 センサ取り付けキット

13 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

本製品の容器及び残留物は、産業廃棄物として処理すること。

14 輸送上の注意

本製品は、危険物の輸送に関する国際規制 (IMDG、IATA、ADR/AND/RID) の対象外です。

15 適用法令

本物質または混合物に固有の安全、健康、環境関連規則/法規

<国内法>

化学物質排出把握管理促進法

(PRTR 制度)： 該当しない

労働安全衛生法： 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条) 【R7.4.1 以降】
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2) 【R7.4.1 以降】

毒物及び劇物取締法： 該当しない

火薬類取締法： 該当しない

高圧ガス保安法： 該当しない

消防法： 危険物 第四類 第三石油類 水溶性液体 危険等級 III

化審法： 特定化学物質・監視化学物質に該当しない

船舶安全法： 該当しない

航空法： 該当しない

港則法： 該当しない

食品衛生法： 該当しない

水質汚濁防止法： 該当しない

土壌汚染対策法： 該当しない

海洋汚染防止法 施行令 施行令別表第 1 有害液体物質 Z 類物質

<国内規格>

JIS Z 7253:2019：GHS に基づく化学品の有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

16 その他の情報

使用者は、適切な作業手順を指導され、本取扱説明書の内容を熟知していなければならない。

引用文献および参照ホームページ等

[NITE-CHRIP \(NITE 化学物質総合情報提供システム\)](https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop) (https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop)

免責事項

本データシートに記載されている情報は、当社の改訂日現在のデータです。本データシートは、本製品が所定の条件下にて、パッケージあるいは技術ガイダンス資料で指定されている通常の取り扱いを対象としたものです。本製品を他の製品と組み合わせて使用する場合や、他のプロセスと組み合わせて使用する場合は、使用者の責任となります。